



つなぐ手 気仙

学校教育目標

かしこく（本気）

やさしく（優気）

たくましく（元気）

『学ぼう岩手！ 深めよう友情！』

修学旅行



上のスローガンの基、気仙小6年生8名と引率団4名は、6月9日（木）・10日（金）の1泊2日、岩手県内陸の旅に行ってきました。

- 1日目 猊鼻溪船下り→平泉中尊寺→嘉司屋（わんこそば）→花巻空港→宮沢賢治童話村
- 2日目 小岩井農場（ガイド付きツアー、バター作り体験、買物）→岩山パークランド

2日目の天候が心配されましたが、無事好天に恵まれ、2日間の全行程を元気に無事に終わってきました。

どこの見学地でも、新しい発見があり、楽しさ満載でした。宿泊は、花巻台温泉の「三右衛門」さん。夕食時には養護教諭の誕生日サプライズもあり、大いに盛り上がりました。温泉も貸し切りにしていただき、ゆったりをたかことができました。

6年生のみんなは、岩手の魅力を目で感じ、耳で聞き、舌で味わい、よく嗅ぎ、触り心地を確かめました。素直に喜びを表現したり、元気にあいさつしたりする姿が、多くの方々からほめられました。仲間との友情も更に深められたと思います。本当に良い旅行でした。

次は6月30日（木）・7月1日（金）の、5年生の宿泊学習。

がんばって！



乗付唄を披露



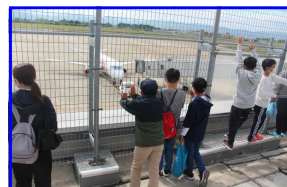
金色堂を背に



みんなで乗ったジェットコースター



はいもう一杯



大空へ飛べ



童話村サイコー



A先生、お誕生日おめでとう！



立派な牛



体験を通して“心を耕す”

子どもたちの心を育てる上で「心を耕す」という言葉があります。

「畑を耕す」とは、土に空気を含ませ、土の中の微生物の活動を活発にさせて作物の育成を豊かにすることです。「心を耕す」とは、未成熟であったり凝り固まったりした心をほぐしたり癒したりしながら、心を元気に豊かにしていくことです。「心を耕す」ためには、様々な体験活動が重要です。体験をもとに考え話し合いながら、子供たちの心は豊かに育っていきます。6年生の修学旅行はまさにその好例です。体験は、実際に自分が体験したことだけではなく、読書や観劇などで、通常はできないことを間接的に体験することができます。

気仙小学校でも、様々な体験を通して、子どもたちが”心を耕す”機会を設けていきたいと思っています。下にその一例を紹介します。

劇団わらび座

風子！とべー！

6月20日（月）、3年生から6年生までの子どもたちが、市民文化会館で劇団わらび座のミュージカル「風子、とべー！」を観劇しました。



風子と名付けられたイヌワシの赤ちゃんの小さな命の成長に寄り添った、二人の少年と先生のおはなしです。

登場する鉄平、良介、先生。一人ひとりの喜び、悲しみ、夢、おそれ・・・それは見ている子どもたちの中にもあって「自分って良介みたい。」とか「鉄平の気持ちわかる。」など感じたことと思います。



最初はおどおどしていた良介が、最後に堂々と「みかぐら」を舞う姿には感動しました。大きな感動をくれた劇団の皆さんに、大きな感謝です。

気仙ぼけ一座

6月13日（月）、3・4年生を対象として認知症サポーター講座を開きました。気仙地区の社会福祉に携わっている方々でつくった『気仙ぼけ一座』



の方々の楽しい劇を通して、認知症に対する理解を深めました。認知症と物忘れの違いや、認知症の方との接し方などを学びました。



7月の行事予定

1	金	宿泊学習2日目（5年）
4	月	身体測定
5	火	木曜時程
7	木	音読集会（6年）火曜時程
12	火	音読集会（2年）チャレンジテスト
14	木	海の安全教室
15	金	全国訪問おはなし隊（1・2年）
19	火	児童集会
20	水	内科検診
21	木	食に関する指導（3・4年）
22	金	1学期終業式
25	月	期末面談（～26日）